

平成29年度ふるさと自然環境基金受賞校事業紹介

猪苗代町立翁島小学校

1. 地域について

本校は、北に磐梯山、南に猪苗代湖を臨む風光明媚な場所に位置している。

特に猪苗代湖は、本校から徒歩10分ほどの位置にあり、夏は、湖水浴、冬には白鳥の飛来地として子ども達にとって、身近な存在となっている。また、猪苗代湖の水は、近隣の市町村の飲料水や農業用水などにも活用されており重要な役割を担っている。

2. 事業経緯について

本校では、平成13年度より「猪苗代の自然を守る会」の皆さんの御指導の下、猪苗代湖の水環境について学習を進めてきており、本年度で17年目を迎える。この間、猪苗代湖の水質は大きく変化してきた。平成14年から平成17年は、4年連続水質日本一だったが、平成18年度、19年度は大腸菌群数が一時的に環境基準を超過したためランキングの対象外となった。平成20年度は、全国2位にまで回復したが、それ以降は、CODが更に上昇するとともに、大腸菌群数が環境基準を超過したため、現在に到るまでランキングの対象外が続いている。こうした状況の中、ふるさとの未来を担う子ども達にとって水質環境学習は益々重要な学習活動となってきている。

3. 具体的な事業内容について

猪苗代湖やそこに流れ込む河川の水質調査を行うと共に、水質を改善するための具体的な活動を長年続けてきている。

・水環境学習のオリエンテーション

【猪苗代湖の水質悪化とその影響について学び課題を持つ】(5月)

・猪苗代湖や周辺河川の水質調査、生息植物・生物の観察(6月～9月)

・猪苗代湖岸のクリーン作戦(6月)

・アサザの移植、種の採(9月) ・ヒシ回収(9月) ・湖岸のヨシ刈り(10月)



猪苗代湖岸クリーン作戦



水生生物による水質調査



ヒシ回収



ヨシ刈り

アサザの移植